

《 競 技 注 意 事 項 》

《新型コロナウイルス感染症拡大防止対策について》

・参加関係者の皆さんは、事前に神奈川陸上競技協会のHPに掲載されている「新しいコロナ対策」の内容を必ず確認してください。

・競技会当日の提出書類について

①一般・大学生は「体調管理チェックシート」を提出。

②中学生・高校生は顧問が「体調管理チェックシート」を確認・保管し「参加状況報告書」を提出。

※マスク着用の考え方の見直し後であっても感染症対策の基本方針に基づく対策は重要です。引き続き「三つの密」の回避、「人と人との距離の確保」、「手洗い等の手指衛生」、「換気」等の励行を実施します。

1. 規則について

本記録会は、2023年度日本陸上競技連盟競技規則及び大会申し合わせ事項による。

2. 競技場について

競技場が開門してない場合は、絶対に場内に入らないこと。開門時間 7:30 (予定)

競技場は、全天候舗装である。トラック走路の厚さは13mm、フィールド助走路の厚さは18mmである。スパイクのピンの長さは9mm以下とする。ただし、走高跳、やり投のピンの長さは12mm以下とする。これらのスパイクピンの直径は、先端が4mm以内、スパイクのピンの本数は11本以内とする。走路の保全と競技者の安全のため、WA競技規則TR5を厳守すること。

3. 練習について

練習は、競技役員員の指示に従って、補助競技場で行うこと。フィールド競技の練習は、現地での招集後競技場内で行うことができる。特に投てき練習は、役員員の指示に従って、試技頃に競技場内で行うこと。

競技に支障のない範囲で主競技場のバックストレートを開放する場合がある。その際、競技役員員の指示に従い、事故には十分注意すること。

最初の競技開始30分前まで主競技場を練習に開放する。その際、1~3レーンは周回練習、5~8レーンはスピード練習、ただし、ホームストレートの7・8レーンはハードル練習とし、4レーンにコーンを設置する。なお、競技役員及び競技者以外は、トラック・フィールドに立ち入らないこと。

※ フィールド種目の練習開始時刻は、競技役員員の指示に従うこと。

※ 競技場以外のいかなる場所でも投てき練習は禁止する。

※ 三ツ沢競技場周辺の公園内での練習は禁止する。駐車場内での練習は厳禁。

4. 招集について

招集は招集所(競技者係)において本人が受けること。その後現地での最終コールを行う。招集時刻は、競技日程に記載されたとおりとする。なお、招集はアスリートビブス確認のため、必ずユニフォームを着用して受けること。

※リレーのオーダー用紙は、最初のグループ招集完了時刻1時間前に提出すること。

※棒高跳の招集は競技場ピットで実施する。

※ 2種目同時に出場する競技者は、予めその旨を本人または代理人が競技者係に申し出て「同時出場届」を受け取り、必要事項を記入のうえ提出する。

5. アスリートビブスについて

アスリートビブスは、主催者が用意したままの状態(縦16cm、横24cm)で使用し、安全ピンは各自で用意すること。跳躍種目では、アスリートビブスを背または胸につけるだけでもよい。

トラック競技では、腰ナンバー標識を右腰やや後方につけること。

① 3000m・5000m・3000mSC 出場者は、競技者係で特別ナンバーカードと腰ナンバー標識を各自で受け取る。

② ①以外のセパレート種目を含む全トラック種目出場者は競技者係でレーン番号の腰ナンバー標識を各自で受け取る。

※腰ナンバー標識、特別ナンバーカード共に競技終了後の返却はない。

6. トラック競技について

トラック競技は、すべて電気計時とする。

1回の不正スタートで失格とする。

※スタート時の不適切行為に関しては、審判長によって警告（イエローカード）を与えられる事がある。

競技運営上、次の制限タイムを設定する。（残り1週の通過タイム）

男子 5000m（19分以内） 3000mSC（14分以内）

女子 3000m（14分以内） 5000m（23分以内）

7. フィールド競技について

フィールド競技の試技順は、プログラム記載の順番に従い行う。走幅跳・三段跳・投擲種目については、3回試技とする。

跳躍競技のバーの上げ方は、次のとおりである。（荒天の場合は、別途指示する。）

	種目	練習	バーの上げ方	
男子	走高跳 (1)	1m80 / 2m00	1m85 1m90 1m95 2m00 2m03 以後 3cm	
	走高跳 (2)	1m65 / 1m85	1m70 1m75 1m80 1m85 1m88 以後 3cm	
	走高跳 (3)	1m60 / 1m70	1m65 1m70 1m75 1m80 1m83 以後 3cm	
	走高跳 (4)	1m40 / 1m55	1m45 1m50 1m55 1m60 1m63 以後 3cm	
	棒高跳	3m50 / 4m30	3m60 3m70 3m80 3m90 4m00 4m10 4m20 4m30 4m40 4m50 4m55 以後 5cm	
	棒高跳	2m90 / 3m50	3m00 3m10 3m20 3m30 3m40 3m50	
女子	走高跳 (1)	1m35 / 1m50 / 1m60	1m40 1m45 1m50 1m55 1m60 1m63 以後 3cm	
	走高跳 (2)	1m20 / 1m35	1m25 1m30 1m35 1m40 1m45 1m48 以後 3cm	
子	棒高跳	現地競技役員の指示に従う		

※走幅跳の助走路は、(A)はトラック側、(B)はスタンド側とする。

※男子三段跳の踏切板の位置は、3組・4組は砂場より11m00、2組は12m00、1組は13m00に設置する。

※女子三段跳の踏切板の位置は、(A)・(B)共に9m00に設置する。

8. 競技用具について

- 棒高跳のポール・砲丸・円盤・やり・ハンマーは各自持参したものを、各競技開始90～60分前までに検査を受けて使用することができる。
- 競技用シューズの靴底については、WA競技規則TR5（シューズ）を守ること。
フィールド競技用シューズについては適用しない。
- 高校男子砲丸の重さは、6.000kgとする。
- 高校男子円盤の重さは、1.750kgとする。
- 高校男子ハンマー投の重さは、6.000kgとする。

9. 抗議について

WA競技規則TR8にもとづき、競技者自身、もしくは代理人から審判長へ口頭でなされる。裁定に不服の場合は競技者に代わる責任者が抗議申立書と預託金10,000円を総務に提出する。（正式アナウンス後30分以内とする。）

10. 欠場について

各種目にやむをえず欠場をする者は、できるだけ早く招集所競技者係に申し出ること。

「欠場届」は招集所で配布する。

11. 助力について

競技場内での助力は禁止とする。スタンドからの助言については競技運営ならびに他の競技者の競技に妨げにならない範囲で認めるものとする。文書をもって連絡することや、当該競技場所を勝手に離れることはできない。また、ビデオ・ラジオ・CD・MD・トランシーバー・携帯電話もしくは類似の機器等を競技場内に持ち込むことができない。（WA競技規則TR6）

1 2. その他

- 競技場及び競技順序を確認すること。
- プログラムの訂正は、速やかに庶務係に申し出ること。
- 使用した観覧席はきれいにし、ゴミは原則として持ち帰りとする。特に、自分たちで持ち込んだダンボール紙等は必ず持ち帰ること。
- 更衣室は、密にならないようにし更衣のみに使用すること。各団体の控室のように使用しないこと。
- 正面スタンドに、横断幕を張らないこと。
- スタンド最前列では、立っての応援は禁止とする。
- 役員・選手以外のトラック・フィールドへの立ち入りを禁ずる。
- 貴重品の管理は、各団体・個人で責任をもって行うこと。
- 全競技終了後は、速やかに競技場外に移動し、ミーティング等は競技場外で行うこと。
- 競技場外（公園内・駐車場・レストハウス）にテント・シート等で占有スペースを設置しないこと。